

留 学 報 告 書

記入日: 2018 年 1 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南ユタ大学 現地言語: Southern Utah University
留学期間	2017 年 8 月～2017 年 12 月
留学した時の学年	3 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Economics <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018 年 1 月 9 日
明治大学卒業予定年	2019 年 3 月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 3 学期: (記入例/1 学期: 4 月上旬～7 月下旬, 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬)
学生数	8000
創立年	1897

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0 円	交換留学
宿舍費	1500	165000 円	
食費	1500	165000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	200	22000 円	教科書や文房具など
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	35	4000 円	フリースジャケット
医療費	0	0 円	
保険費	645	71000 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	2000	220000 円	
雑費	400	44000 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	6280	691000 円	



渡航関連

渡航経路: 東京→ロサンゼルス→ラスベガス

渡航費用

チケットの種類	往復航空券
往路	160000
復路	60000
合計	220000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

American Airlines

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 3)

3)住居を探した方法:

大学の凱旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

入寮してすぐに友達ができましたが、消灯時間やメディアの音量調節など、多くの気遣いが必要だったため、一人部屋がお勧めです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

些細な問題は友達に相談し、大きな問題は International affairs に相談した。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

Cedar City は安全だった。カリフォルニアに旅行したときは事前にネットで調べた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wi-Fi 環境は良かったが大学から送付された SIM カードによる電波は非常に弱かった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

SONY WALLET を用いた。現地で銀行口座を開設したが、一度も使わずに口座を閉じた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ほとんどのものは現地で調達できますが、日本で使い慣れたものは多めに持って行くことをお勧めします。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

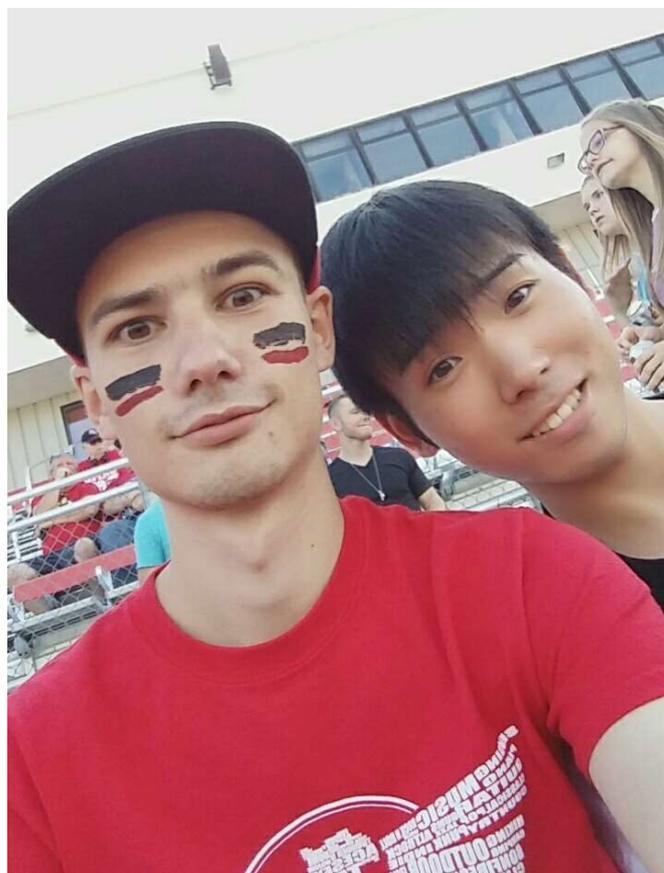
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
US Economic History		アメリカ経済史
科目設置学部・研究科	Economics	
履修期間	8 月から 12 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	David Berri	
授業内容	過去の経済体系を踏まえた近代アメリカの経済体系	
試験・課題など	各授業の小テスト、期末試験	
感想を自由記入	先生は非常に速く話して、口頭では、ほとんどついていけなかった。しかし講義で使われるパワーポイントスライドを熟読することで対応できた。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Relations		国際関係学入門
科目設置学部・研究科	Political Science	
履修期間	8 月から 12 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Michael Stathis	
授業内容	近代以降の国際関係学	
試験・課題など	中間レポート 2 回、中間試験3回	
感想を自由記入	比較的ゆっくりしゃべる先生だったが、ほとんど口頭での説明だったため、ノートをとるのが難しかった。	



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Communication	コミュニケーション学入門
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	8月から12月
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Karisa Rosander
授業内容	効果的なコミュニケーションをするために意識すべきことは何か
試験・課題など	各授業の課題、プレゼンテーション2回
感想を自由記入	口頭での説明が理解することができなことが多く、最初のころは毎授業後に課題や授業内容について質問していた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	多文化間のコミュニケーション学
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	8月から12月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Johnny Oh
授業内容	自文化と異文化のコミュニケーションにおける相違点
試験・課題など	中間課題、期末プレゼンテーション、期末レポート
感想を自由記入	最後の一ヶ月が非常にづらい授業で、期末レポートは4日間ずっと取り組んだ。韓国人の先生だったため英語は理解しやすかった。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	TOEFL に向けての勉強。
4月～7月	TOEFL に向けての勉強
8月～9月	TOEFL に向けての勉強 志望大学の決定
10月～12月	明治大学に書類提出
2017年 1月～3月	南ユタ大学に出願
4月～7月	英語力の強化
8月～9月	オリエンテーション及び授業開始
10月～12月	友達と小旅行 期末試験に向けた勉強
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	入学当初、私は留学よりも、単に英語力の向上に重きを置いていました。英語とフランス語を話すことができる父親に追いつきたいと考えたからです。しかし英語力が向上し、交換留学の英語要件への到達が現実的なものになったとき、英語だけでなく明治大学で学んできた政治経済学を、海外の大学視点で学びたいと考え志願しました。また、私は今まで家族や友人に頼った人生を送っていたため、一人で留学を成功させて成長したいということも大きな動機の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり一番は語学力の向上ではないでしょうか。私が留学を志望する人に、1特に取り組んでほしいことは、単語量の増強です。4技能全ての基礎は単語と言っても過言ではないと思います。そこで私は自作の単語帳を作っていました。お陰で少なくとも、単語量は、現地で出会った日本人の誰よりも多かった気がします。また口語表現を留学前の1か月で重点的に勉強しました。ここで覚えた口語表現は友達や教授との会話で役に立ちました。
この留学先を選んだ理由	アメリカが英語圏の国で、教育の質が高いこと、また、その中でも南ユタ大学が、質の高い少人数授業を行っているという点に魅力を感じ、志望しました。英語が母語ではないというハンディキャップを埋めるため、授業に積極的に関わるためには南ユタ大学の方針が最適でした。他には南ユタ大学が多くの国立公園に囲まれている点、アウトドア・アクティビティが盛んであることに惹かれました。明治大学が都心に位置しているため、緑に囲まれた大学で勉強してみたいという気持ちもありました
大学・学生の雰囲気	南ユタ大学は、勉強にとっても精を出している大学でした。教師も学生も全力で勉強しています。例えば、図書館には毎日深夜まで大勢の学生が勉強していました。留学生の私は、英語が第2言語であるため深夜まで残る必要がありましたが、アメリカ人学生でさえも残っていたため驚きました。南ユタ大学の位置するユタ州は、モルモン教のメッカということもあってか、とても親切な人ばかりで治安も非常に良いです。差別的な言動も無かったため、最小限のストレスで留学生活を送ることができました。
寮の雰囲気	オンキャンパスの寮に住んでいる学生の多くは、一年生か留学生でした。そうした学生たちを大学生活に慣れさせるためか、寮長主導のイベントも頻繁にあり、友達が簡単にできる環境でした。前述のとおり、世界中からの留学生が住んでいるために居心地も悪くなく、良い寮だといえます。また複数の談話室や卓球台、ピアノといったものもあり快適に過ごせました。しかし壁や天井が薄く、ほかの部屋の騒音がとても響くため、勉強する際は、図書館に移動して勉強する必要がありました。
交友関係	南ユタ大学には、モルモン教の宣教師として来日したことがあるアメリカ人学生が多く、彼らは日本に親しみを持ってくれているので、簡単に彼らとは、友達になりました。また、私は留学生オリエンテーションで沢山声をかけたので、多くの留学生の友人を作ることができました。一番仲が良かったアメリカ人の友人とは、遊園地に行ったり、服を買いに行ったり、英語の勉強を手伝ってもらったりしました。またルームメイトとも週末に二人でハイキングに出かけたりと、ルームメイトにも恵まれたと思います。
困ったこと、大変だったこと	やはり授業中のレクチャーや友人との会話の折々で、英語が理解できなかったことが、とてももどかしかったです。中には、英語が下手な私を、あからさまに蔑んだ目で見てる人もいたので、とても腹立たしかったです。特に留学当初は友人との会話で、わかったふりをした愛想笑いも多く、そのたびに劣等感を感しました。授業についていくことも勿論大変ですが、授業内容よりも英語そのもののほうが、大変だったような気がします。
学習内容・勉強について	私は、政治経済学の授業とコミュニケーション学の授業を履修しました。英語で理解することは大変でしたが、時間をかけることで理解できました。私の場合、授業以外の時間の殆どを図書館での復習、課題に費やしましたが、そこまで苦ではありませんでした。協定留学の英語要件を、苦勞して達成することができた人なら耐えられると思います。また先生や他の生徒も親切で、授業内容や課題、試験の指示が理解できないときは積極的に質問しました。

課題・試験について	課題は、明治大学よりも多かったように感じます。しかしコツコツと勉強していたため、徹夜で勉強することは殆どありませんでした。中間試験、期末試験も数日勉強すれば少なくとも八割の点数を取れたので、特別難しいとは感じませんでした。一番辛かった課題が 10 ページの期末レポートを書くことでした。四日間、授業以外の時間をパソコンの前で過ごし、とても精神的にきつかったことを覚えています。しかし完成時の達成感も凄まじく、今では良い思い出です。
大学外の活動について	私は2週間に一回のペースで、友人とハイキングに出かけていました。南ユタ大学の周辺には多くの国立公園があり、行ききれないほどの自然が多くありました。期末試験後の冬休みにはカリフォルニア州を縦断して、観光しました。アメリカの西海岸沿いは観光名所に恵まれていて、とても有意義な時間でした。ホテルや飛行機、ツアーを自分で手配したため、留学理由の根幹である個人の成長につながったと思います。これから留学をする学生にも是非、積極的に旅行してほしいです。
留学を志す人へ	正直に言いますと、留学は楽しいこと以上に、辛いことが多いです。自分の英語力に何度も落胆し、孤独感を感じることも多かったです。しかし、そういった苦難は必ず成長につながります。また交換留学を遠い存在に感じている人もいるかもしれませんが、英語に苦手意識を持つ人でも努力次第で、十分に射程圏内に持ち込めます。交換留学をしたいと決意したならば、自分に厳しく接し、努力を重ねて交換留学のキップをつかみ取ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	言語交換	自習	言語交換	自習	自習	ハイキング
	授業	自習	授業	自習	授業	自習	ハイキング
午後	授業	授業	授業	授業	授業	自習	ハイキング
	課題	授業	言語交換	授業	言語交換	自習	ハイキング
夕刻	自習	クラブ活動	課題	課題	課題	自習	自由時間
夜	自習	課題	自習	自習	自習	自由時間	自習